

○ 〔共通事項〕が新設された趣旨は何か。また、その指導における留意点はどのようなことか。

指導のねらいや手だてを明確にし、生徒が感性を高め、思考・判断し、表現する一連の過程を重視した学習を充実することが求められている。このため、内容の全体構成を見直して、表現及び鑑賞に関する能力を育成する上で共通に必要な〔共通事項〕を新設した。

1 〔共通事項〕について

音楽を形づくっている要素について、従前は「音色、リズム、旋律、和音を含む音と音とのかかわり合い、形式など」を構成要素、「速度、強弱」を表現要素とし、それぞれ別の事項で示していたが、今回の改訂では、音（音色）、音と音との時間的な関係（リズム、速度）、連なりや織りなす関係（旋律、テスクチュア）、音量の変化（強弱）、音楽の組立て方（形式、構成）のような大きなくくりで再整理し、この順に「音色、リズム、速度、旋律、テスクチュア、強弱、形式、構成などの音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受すること」（事項ア）、「要素とそれらの働きを表す用語や記号などについて、音楽活動を通して理解すること」（事項イ）を〔共通事項〕として示した。

(1) 内容の構成

音楽科の内容は、次のように、「A表現」、「B鑑賞」及び〔共通事項〕で構成されている。

現行学習指導要領	新学習指導要領
「A表現」 (1)ア、イ（＝歌唱に関する内容） ウ（＝器楽に関する内容） エ（＝歌唱と器楽に関する内容） オ、カ（＝創作に関する内容） キ、ク（＝要素に関する内容） (2)表現教材 ア、イ	「A表現」 (1)歌唱に関する内容 ア、イ、ウ (2)器楽に関する内容 ア、イ、ウ (3)創作に関する内容 ア、イ (4)表現教材 ア、イ
「B鑑賞」 (1)ア、イ（＝要素に関する内容） ウ、エ（＝鑑賞に関する内容） (2)鑑賞教材	「B鑑賞」 (1)鑑賞に関する内容 ア、イ、ウ (2)鑑賞教材
	〔共通事項〕 (1)要素に関する内容 ア、イ

(2) 改善のポイント

ア 「A表現」については、歌唱、器楽、創作ごとに事項を示すとともに、現行の「A表現(1)のキ、ク及び「B鑑賞」(1)のア、イに相当する内容を一つにくくり、〔共通事項〕として新たに設けた。

イ 〔共通事項〕については、歌唱、器楽、創作、鑑賞の各活動の支えとなるものであり、表現及び鑑賞の各活動と〔共通事項〕とを関連させて指導することとした。

2 指導における留意点

我が国や諸外国の様々な音楽の特徴をとらえる窓口として、表現及び鑑賞の各活動と関連させて、これらの要素に関する指導をすることが重要である。その際、どのような要素を知覚し、特質や雰囲気をどのように感受したのかをそれぞれ確認しながら結びつけていくこと、また、音楽に関する用語や記号などを用いてイメージや意図などを伝え合う活動を取り入れることによって、結果として、音を媒体とするコミュニケーションである音楽活動の質を高めていくことも大切である。